

氏名 鎮西康雄				
研究分野		所属学会等の名称		
医動物学・寄生虫学・感染症学・免疫学・昆虫学・分子生物学		日本寄生虫学会、日本衛生動物学会、日本応用動物昆虫学会、日本ダニ学会、		
担当授業科目名				
教育上の能力に関する事項				
事項	年	概要		
1 教育の実践例、教育に関する評価等 チュートリアル教育 授業の工夫	1995-2006 2007-現在	PBL (Problem-based learning) による医学教育を実践した。 授業において穴埋めプリントを配布し、授業中学生に穴を埋めさせ、集中と関心を高めて教育効果の向上を図っている。学生にも好評である。		
2 作成した教科書、教材、指導書等 標準医動物学 基本人体寄生虫学 最新応用昆虫学 その他教科書教材作成5件	1995 2000 2009	共著・医学書院、鎮西康雄・石井明・太田伸生・他著、分担：衛生動物学 (pp220-260) 共著・医歯薬出版、鎮西康雄・高橋優三・鳥居本美・他、分担：衛生動物学 (PP116-136) 共著・朝倉書店、鎮西康雄・田付洋・河野義明・他著、分担：生体防御学 (pp121-128)、 医動物学 (pp203-213)		
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等				
職務上の実績 (学術団体や社会等における活動) に関する事項				
事項	年	概要		
1 資格、免許、特許、受賞等 (役職) 三重大学教授 三重大学付属動物実験施設長 三重大学学長補佐 三重大学医学部長 三重大学大学院医学研究科長 三重大学名誉教授 (特許) 血液凝固阻害活性を有するサンガメ由来の Ti2 蛋白質 その他8件 (受賞) 応用動物昆虫学会賞 Zoological Science Award 衛生動物学会賞 読売東海医学賞	1988-2007 1994-1997 2001-2002 2003-2006 2003-2006 2007-現在 2005 1988 1989 1998 2007	任命権者；文部大臣 任命賢者；文部科学大臣 任命権者；三重大学長 任命権者；文部科学大臣 任命権者；文部科学大臣 任命権者；三重大学長 特許第 3648549 号、特許庁 日本応用動物学会、「昆虫幼若ホルモンによる遺伝子発現調節機構」に対して。 日本動物学会論文賞、「昆虫幼若ホルモンの作用機構」に対して。 日本衛生動物学会、「吸血昆虫唾液腺の生理活性物質」に対して。 読売新聞社、「マラリア感染の分子機構」に対して。		
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等 学術会議連携会員 学会長など3件 科研費審査員その他6件	2005-2011 1995-2000 2000-2002 1998-2005 1992-現在	2期6年継続中、感染症病原体分科会および応用昆虫学分科会に所属し報告と提言作成に参画 日本衛生動物学会会長 (2期6年)、 日本ダニ学会会長 (1期3年) 日本 ICIPE 協会 (国際昆虫生理生態学研究所運営に関する日本協会) 会長 文部科学省科学研究費審査員 (寄生虫学および応用昆虫学一次審査員前後4回)、 農水省生研機構審査評価委員 (5年)、全国医学部長会議研究委員長 (3年)、農水省研究開発審議会委員 (5年)、長崎大学熱帯医学研究所外部評価委員 (3年)、 三重県文化芸術推進会議委員 (4年)・県展運営委員及び委員長 (4年) 三重県文化賞先行委員会委員及び委員長 (3年)		
研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書) 1. Host Regulated Development in Vector Arthropod. (ed. by D. Borovsky) 2. 昆虫生理生態学 (田付・河野編)	共著 共著	1986 2006	フロリダ大学出版 朝倉書店	Chinzei Y. Vitellogenesis (Egg Formation) in Ticks pp225-228 鎮西康雄、吸血昆虫の生理吸血, pp206-216、吸血節足動物の疾病媒介, pp117-130

3. 分子細胞生物学辞典(村松他編) その他5篇	共著	2010	東京化学同人	鎮西康雄, 医動物学衛生動物学関連約25項目分担執筆
(報告書等) 1. 吸血性昆虫唾液腺生理活性分子の探索 2. マラリア原虫の宿主感染の分子機構 3. マラリア原虫のステージ特異的宿主細胞感染機構の解明 その他科学研究費報告書12篇など研究報告書多数	単著 単著 単著	2005 2008 2006	三重大学 三重大学 三重大学	文部科学省・未来開拓事業(1999-2004)報告書 科学技術振興機構・戦略的基礎事業CREST(2004-2008)報告書 文部科学省・科学研究費・基盤A(2003-2007)報告書
学術論文 学会発表等の題名		発表者名		発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等
(学術論文) 1. Mosquito salivary protein inhibits activation of a contact system by binding to factor XII and high molecular weight kininogen. 2. Essential Role of membrane-attack protein in malarial transmission to mosquito host. 3. Liver-specific protein 2: a Plasmodium protein exported to the hepatocyte cytoplasm and required for merozoite formation その他115篇		Isawa H, Yuda M, <u>Chinzei Y</u> 他1名 Kadota K, Ishino T, <u>Chinzei Y</u> 他2名 Orito Y, Ishino T, Chinzei Y 他5名		J. Biol. Chem. 277: 27651-27658, 2002 Pro.N.A.S., 101: 16310-16315, 2004 Mol.Microbiol., 87:66-79, 2013
(学会発表等) 1. Vector Parasite Molecular Interactions : Molecules Essential for Invasion of Malarial Parasites into the Host Mosquito Tissues. 2. Molecules Essential for Infection of Malarial Parasites into the Host Mosquito Midgut 3. Essential Molecules for Infection of Malarial Parasites into the Host Mosquito Tissues その他国際学会約20件、国内学会多数		<u>Chinzei Y</u> , Yuda M <u>Chinzei Y</u> , Yuda M <u>Chinzei Y</u>		XII International Congress of Parasitology, 2007, Glasgow XIV Annual Meeting of American Society of Tropical Medicine and Hygiene.2008, Atlanta XIX Asian-Pacific International Congress of Molecular Biology, 2009, Seoul
(その他) 1 吸血昆虫唾液腺の生理活性分子の探索と応用 2 マラリア原虫の媒介蚊細胞編の侵入機構 3. 昆虫幼若ホルモンによる遺伝子発現の調節機構の解明 他		鎮西康雄 鎮西康雄、狩生徹、矢野和彦、他2名 鎮西康雄		第20回大学と科学公開シンポジウム要旨集「むしの才覚を探る」(山下他編)、クバプロ、pp75-98、2006 第25回阿蘇シンポジウム記録「感染症研究の新戦略」(柳他編)南山堂、pp9-16、2001 科研特定研究講演会記録「昆虫の変態・休眠の分子機構」(山下他編)、pp115-118、2001